



Title	a+a 美学研究 第12号 執筆者紹介
Author(s)	
Citation	a+a 美学研究. 2018, 12, p. 160-160
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90124
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介

Christoph Menke | クリストフ・メンケ

1958年生まれ。フランクフルト大学教授（実践哲学）。エクセレンス・クラスター「規範的秩序の形成」にて研究プロジェクト「規範性と主体性：第1の自然—第2の自然—精神」のプロジェクトリーダーを務める。最近の著作に *Kritik der Rechte* (Suhrkamp, 2015) などがある。

田中 均 | たなか・ひとし

1974年生まれ。大阪大学准教授（COデザインセンター／大学院文学研究科）。専門領域はドイツ語圏を中心とする近代美学、芸術における「参加」をめぐる諸問題。著書に『ドイツ・ロマン主義美学』（御茶の水書房、2011年）、訳書にクリストフ・メンケ『芸術の至高性』（共訳、御茶の水書房、2011年）など。

梶原将志 | かじわら・まさし

1981年生まれ。松山大学経済学部非常勤講師。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。専門は1800年前後のドイツにおける悲劇・悲劇論。論文「ヘルダーリン〈『オイディプス』への注釈〉について」（『ドイツ文学論集』第50号、2017年）、「ヘルダーリンの詩作における極としての geschick および schicklich」（『シェリング年報』第29号、2017年）など。

海老根 剛 | えびね・たけし

1971年生まれ。大阪市立大学文学研究科准教授。博士（文学）。専門領域は20世紀ドイツ文化研究と映画を中心とする表象文化論。論文「群集の行動とディスポゼションの理論 ヴァイマル共和国時代の群集表象の批判的再検討にむけて」（『表現文化』第10号、2017年）、訳書『ヴィデオ再帰のメディアの美学』（イヴォンヌ・シュビールマン著、監訳、三元社、2011年）など。

柿木伸之 | かきぎ・のぶゆき

1970年生まれ。広島市立大学国際学部准教授。上智大学大学院哲学研究科博士後期課程満期退学。博士（哲学）。専門領域は20世紀ドイツ語圏の哲学と美学。著書に『ベンヤミンの言語哲学』（平凡社）、『バット・剝ギトッテシマッタ後の世界へ』（インパクト出版会）などがある。ひろしまオペラ・音楽推進委員会の委員も務める。

石田圭子 | いしだ・けいこ

1969年生まれ。神戸大学大学院国際文化学研究科准教授。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士（美術）。専門領域は美学・芸術論。著書に『美

学から政治へ—モダニズムの詩人とファシズム』（慶応義塾大学出版会）、『Contemporary Art Theory』（Eos Art Books）（共著）などがある。

井上由里子 | いのうえ・ゆりこ

静岡文化芸術大学講師。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。演劇学・フランス演劇研究。論文に「ヴァレール・ノヴァリナの転換期における演出家クロード・ビュシュヴァルトの役割——『時に住むあなた』、『食事』、『架空のオペレッタ』演出をめぐって」（『演劇学論集』第62号、2016年）、「La variation des personnages dans *L'Espace furieux* de Valère Novarina」（*Les études françaises au Japon*, Presse Universitaire de Louvain, 2010）など。

土田耕督 | つちだ・こうすけ

1980年生まれ。大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻 芸術学講座（美学）助教。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。専門領域は、和歌（論）・連歌（論）の研究を中心に据えた日本芸術学。

田之頭一知 | たのがしら・かずとも

1959年生まれ。大阪芸術大学芸術学部教授。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程中退。専門は美学・音楽哲学、哲学的時間論。著書に『美と藝術の扉——古代ギリシア、カント、そしてベルクソン——』（萌書房）、『現代映画思想論の行方』（共著、晃洋書房）他。

河口 篤 | かわぐち・あつし

1990年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士課程在学。修士（人間科学）。専門は、音楽を中心にした美学研究。

高安啓介 | たかやす・けいすけ

1971年生まれ。大阪大学大学院文学研究科准教授。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。愛媛大学法文学部准教授を経て現職。専門は、デザイン思想史。著書『近代デザインの美学』（みすず書房）。

山下泰春 | やました・やすはる（吉野裕太）

1992年生まれ。同人サークル〈アレ★Club〉代表。専門は戦後ドイツ思想およびメディア論。現在、機関誌『アレ』を3号まで発行している。主な論考に「電子メディアと《場所感》—メイロウィッツ『場所感の喪失』とその射程について」（『アレ』Vol.3 所収）。